



国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

超我の奉仕

第2292・2293回 例会会報 平成17年11月4日(金)・8日(火) 雨(本年度 第18・19回)

会長報告

加藤 功

「有為な人材を育成」し、「政治力を結成」するための「人づくり」実践が、単に農民から企業体職員にまで対象が拡大ないし転換されたという意味を担うだけにとどまらない。講師も篤農から「人の和」を説く企業家へと変遷を遂げている。

庄内「松柏会」は、戦前、安岡正篤の主宰した「篤農協会」(現在全国師友協会)の農道講習会の聴講生を発端にして結成され、現在まで続いている団体である。教学(儒教道徳による農民教化)と農事改良(農民の実利的要求を充足)を活動内容とし、機関紙『松柏』を発行している。東北振興研修所は安岡正篤関係団体であり、庄内松柏会は安岡教学を学ぶ主な勉強会と位置づけられる。(菅正等編『東北農民の思想と行動一庄内農民の研究』御茶ノ水書房1984、森武磨等編著「地域における戦時と戦後」一庄内地方の農村・都市・社会運動、日本経済評論社1996)

これまで3回にわたって述べた、庄内地方の農民に多大な影響を及ぼした3人の農本主義思想家は、どなたも宗教道徳により農民教化を試みたということで教学農本主義者である。石原莞爾は、法華経という仏教、加藤完治は古神道そして菅原兵治は儒教道徳により農民の教化を試みた。いずれにしても、「農民が大地、大自然に立ち向かうところの考え方を農民道や農土道として道徳化し、国家意識や日本精神などに結びつけ、天皇制国家と耕作農民の調和を図ろうとしている。」と評価することもできる。

第5回理事会報告

1. 協議

(1) ネパール訪問視察へのお土産の件

※鹿兒島西 RC へは 10/28、5 万円送金

ネパール国・カトマンズ、ポカラ、シリバリ村の要望で、拡声器を要望されたので鹿兒島西 RC 様よりインドで調達しシリバリ村に加藤会長の

メッセージと一緒に贈呈

(2) 新入会員の職業分類と所属委員会の承認

西川富美子 (SAA・新世代) 青柳孝治 (社会奉仕・友好クラブ)

(3) クリスマス家族例会について

12/20 (火) pm6:00 開会

登録料 会員 5,000 円 家族 3,000 円

RAC・IAC 2,000 円

2. 報告

元会員で鶴岡 RC 第 12 代会長小池繁治氏御逝去。

細則により香典 1 万円と加藤会長の弔意を表す文書を添えて書類で郵送。

会員スビーチ 津軽弁あれこれ

NHK 鶴岡支局長 後藤 順一



代表的な<津軽弁>に、「強情な」という意味の「じょっぱり」の他に、「どさ」「ゆさ」という言葉があります。「どさ」は「どこへ行くの?」

という意味、それに対して「ゆさ」は「お風呂(公衆浴場)へ行く」という意味です。昔、社会党の代議士が、冬の除雪費を国から少しでも補助してもらおうと国会で発言したのが発端で、津軽の地吹雪は口を長く開けられない程すごいもので、だから津軽の人達は会話する言葉が短くなってしまったという例で述べたものです。

実はこれより短い言葉が更にありまして、「い・ろ」の三段活用と言われているものがあります。三段階の発音の高低差で、「い」は「何?」「良い」「そこにある」という意味に、また「ろ」は「久しぶり」「ざまを見ろ」「そこにある」という意味に分かれます。この「い・ろ」が発音出来ないと津軽の人間として認めてもらえませんが、もう一つの課題は「ん」が入る言葉が多いので、地元の人のようにしゃべれないと言われます。

「だから」という意味で「そんではんで」、「でしょう」という意味で「んだびょん」という言葉が良い

自分にも出来る温暖化防止

ストップ! アイドリング

